

SVJ オビディエンス全般規定

<p>○段階受験について：2019年1月14日以降は、新規受験・出場犬はオビディエンス1からの段階受験でなければなりません。試験あるいは競技会にて合格済み（移行措置期間の3指定競技会（10/28 ハロウィン静岡、12/9 D-1 福岡、1/13 SVJ 京都）は不合格でも可）のレベルのひとつ上、または現在合格済みのレベルの再チャレンジ、あるいは下のレベルに出場できます。</p> <p>例：現在、OB3 合格済み⇒出場できるクラス⇒OB1, OB2, OB3, OB4 出場できないクラス⇒OB5, OB6</p>
<p>○OBH 合格犬はオビディエンス4以上のどのレベルでも出場可能です。</p>
<p>○試験・競技会にて総合得点70%以上（40点満点であれば28点以上）で合格となり、次の競技会には一つ上のレベルで出場できます。昇級せずに同じレベルにとどまって出場する、あるいは下のレベルに戻ることも可能です。</p>
<p>○昇級はSVJ 訓練試験でも可能です。訓練試験に限り二つのレベルを同時に受験できます。例：OB1+OB2、OB2+OB3、OB3+OB4</p>
<p>○OB1～3は6ヶ月齢から出場できます。OB4～6は12ヶ月齢からとします。</p>
<p>○シニアオープン（出場条件は犬の年齢6歳以上のみ。昇級過程不要）を新設。オビディエンス4の規定で行います。</p>
<p>○プロが自己所有犬で出場できるのはOB4からとします（BH 必要なし）／OB1～3はプロは自己所有犬で出場できないという意味。自己所有犬でなければOB1～3に出場できます。</p>
<p>○どのレベル、どの課題においても犬の大きさに合わせて歩幅を調節してもよい。</p>
<p>○小型犬が前進を行う場合、スタート地点（基本姿勢地点）を前方に移動してもよい。</p>
<p>○すべてのレベル、どの課題においても、前進の命令時以外、手あるいは体での合図は禁止。命令（声符）のみで行うこと。</p>
<p>○リードは左手で持つ（それができない理由があるときは右手でもよい）。</p>

オビディエンス 1（一頭が単独で行います）

1	<u>リード付きで行進</u> （群衆なし） IGP コース・常歩のみ・最初の直進は最低 10 歩
2	<u>リード付き座れ待て</u> 基本姿勢から「スワレまたはマテ」→静かに手からリードを放し 5 歩離れる
3	<u>リード付き伏せて待つと呼び寄せ</u> （リードを外してもよい） 基本姿勢から「フセ」→10 歩離れる→呼び寄せる 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>リード付き休止</u> （単独・犬を見てもよい・リードを持つのは犬が座ってから） 伏せた犬からリードを持ったまま（放してもよい）2 歩離れる→30 秒

オビディエンス 2（一頭が単独で行います）

1	<u>リード付きで行進</u> （群衆なし） IGP コース・常歩のみ・最初の直進は最低 20 歩
2	<u>リード付き座れ待て</u> 基本姿勢から「スワレまたはマテ」→静かに手からリードを放し 10 歩離れる
3	<u>リード付き伏せて待つと呼び寄せ</u> （リードを外してもよい） 基本姿勢から「フセ」→20 歩離れる→呼び寄せる 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>リード付き休止</u> （単独・犬を見てもよい・リードを持つのは犬が座ってから） 伏せた犬から 10 歩離れる→1 分

オビディエンス 3（一頭が単独で行います） 課目 2、3 はリード付なしどちらでも可

1	<u>リード付きで行進</u> （群衆なし） IGP コース・常歩のみ・最初の直進は最低 30 歩
2	<u>常歩行進中の座れ</u> 常歩 10～15 歩の間で座れを命ずる→15 歩離れる 座れを命令する前に立ち止まってもよい（停止→犬は指示なしで座る→命令座れ→離れる）
3	<u>常歩行進中伏せと呼び寄せ</u> 常歩 10～15 歩の間で伏せを命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 伏せを命令する前に立ち止まってもよい（停止→犬は指示なしで座る→命令伏せ→離れる） 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>リード付き休止</u> （単独・犬を見てもよい・リードを持つのは犬が座ってから） 伏せた犬から 20 歩離れる→1 分

オビディエンス 4（2 頭一組で行います／一頭は行進からもう一頭は休止から）

1	<u>ノーリードで行進</u> （群衆あり） IGP のコース（最初の直進は 50 歩）
2	<u>常歩行進中の座れ</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で座れを命ずる→15 歩離れる
3	<u>常歩行進中伏せと呼び寄せ</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で伏せを命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>休止</u> （ペアの服従が終わるまで） 伏せた犬から 30 歩離れて背中を向けて立つ

オビディエンス 5（2 頭一組で行います／一頭は行進からもう一頭は休止から）

1	<u>ノーリードで行進</u> （群衆あり） IGP のコース（最初の直進は 50 歩）
2	<u>常歩行進中の座れ</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で座れを命ずる→15 歩離れる
3	<u>常歩行進中の伏せと呼び寄せ</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で伏せを命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>常歩行進中の立止</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で立止を命ずる→15 歩離れる
5	<u>物品持来</u> 指導手のダンベル（一般的な形状であれば、材質、色、テーピングなどは特に制限なし） 投げる前に「待て」を命令してはいけない。 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
6	<u>休止</u> （ペアの服従が終わるまで） 伏せた犬から 30 歩離れて背中を向けて立つ

オビディエンス 6（2 頭一組で行います／一頭は行進からもう一頭は休止から）

1	ノーリードで行進 （群衆あり） IGP のコース・最初の直進は 50 歩
2	常歩行進中の座れ （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で座れを命ずる→15 歩離れる
3	速歩行進中の伏せと呼び寄せ （ノーリード） 常歩 10 歩→速歩 10～15 歩の間で伏せを命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	速歩行進中の立止と呼び寄せ （ノーリード） 速歩 10～15 歩の間で立止を命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
5	物品持来 指導手のダンベル（一般的な形状であれば、材質、色、テーピングなどは特に制限なし） 投げる前に「待て」を命令してはいけない。 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
6	障害飛越と物品持来 指導手のダンベル・障害の高さは任意（ただし犬の体高以上） 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
7	前進と伏せ 常歩 10～15 歩の間で前進を命ずる→約 30 歩前進→伏せ
8	休止 （ペアの服従が終わるまで） 伏せた犬から 30 歩離れてテントの中に入る

SVJ オビディエンス採点表

		1	2	3	4	5	6	
1	リード付き行進 ノーリード行進	10	10	10	10	10	10	
2	リード付き座れ待て 常歩行進中の座れ	10	10	10	10	10	10	
3	常歩行進中伏せと招呼 速歩行進中伏せと招呼	10	10	10	10	10	10	
4	常歩行進中の立止 速歩行進中立止と招呼	--	--	--	--	10	10	
5	物品持来	--	--	--	--	10	10	
6	障害飛越と物品持来	--	--	--	--	--	10	
7	前進と伏せ	--	--	--	--	10		
8	リード付き休止 ノーリード休止	10	10	10	10	10	10	
	最小採点は 0.5	40	40	40	40	60	80	